副専攻名　アジア・日本研究

副専攻のCP（カリキュラム編成方針）

日本を含むアジア諸地域について、人文科学や社会科学の様々なアプローチを用いて分析する科目でカリキュラムを構成する。他の地域や世界の状況との比較の視座から、俯瞰的に日本やアジアの文化・社会を考察できる高度な思考力の養成を目標とする。

副専攻の学習成果

・世界情勢を偏りなく見つめ、自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力が身につく。
・日本およびアジア諸国の文化・社会・歴史について、グローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得できる。
・日本とアジア諸国の関係について、専門的知識に裏打ちされた自らの意見を持ち、両者の交流の仲介役となることができるコミュニケーション能力が身につく。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52026	国際政治史（東洋）1E	東アジアを中心とする国際政治の歴史について英語で学ぶ	2～4		
52526	国際政治史（東洋）2E		2～4		
51037	グローバル経済史	現代世界におけるグローバル化は、長期の歴史においてどのようにして形成されてきたのか考える。同時に、グロール化によって引き起こされてきた環境問題も重要な課題となる。	2～4		
52029	文化人類学概論A	文化人類学の基本的な考え方やものの見方を学び、自分とは異なる異文化・異社会の人びととの理解や協調の基礎作りをする。	3～4		
52030	文化人類学概論B		3～4		
52031	文化人類学講義	ラフ住民の「ラフ（人/民族）」についての語りを研究することにより、1）少数民族の経験（認識、感情、希望などの総体）2）他人について理解するために、その人たちが語る語りを研究することの有効性と限界について理解することを目的とする。	3～4		
36318	地理学概論A	地理学が対象とする地域に関する知識を深めることによって、地理学的なものの見方・考え方を理解し，さらに，経済・社会の実態と問題点について，人文地理学の観点から説明できるようになることを目標とする	2～4		
16212	日本の思想と宗教1	仏教思想を中心に日本の思想と宗教に関する基礎的な知識と分析方法を習得する。	2～4		
16412	日本の思想と宗教2		2～4		
16415	日本史概論1	日本史の基礎知識を身につけることで、日本に関する様々な情報を歴史的な観点から理解する。	3～4		
16416	日本史概論2		3～4		
16014	日本経済論	日本資本主義の史的展開を通じて、日本経済の今日的課題を分析・説明する視角を身につける	2～4		
16265	日本民俗文化論1E	日本文化の理解を目指すために、日本国内外における人類学の研究調査に関する知識を養う。	2～4		
16465	日本民俗文化論2E		2～4		
16067	日本の文学	日本の文学伝統を具体的に理解する。	2～4		
16469	日本の古典文学1	・日本古典文学の代表的な古典がどのように古典として認知されてきたかを知る。 ・古典学の成果を踏まえて、新たな古典的作品がどのように創造されたかを知る	2～4		
16470	日本の古典文学2		2～4		
16471	日本の近代文学1	文学研究の基礎的な方法論にもとづき、日本近代文学を多角的にとらえることができるようになる。	2～4		
16472	日本の近代文学2		2～4		
16473	日本の現代文学1	日本近現代文学の短編小説を読み、「どのように語られているか」という観点から作品を読めるようになる。	2～4		
16474	日本の現代文学2		2～4		
52635	日本研究特論1	日本の社会・文化・言語等に関する様々な個別テーマについて学ぶ	2～4		
52636	日本研究特論2		2～4		

副専攻名　アジア・日本研究

副専攻のCP（カリキュラム編成方針）

日本を含むアジア諸地域について、人文科学や社会科学の様々なアプローチを用いて分析する科目でカリキュラムを構成する。他の地域や世界の状況との比較の視座から、俯瞰的に日本やアジアの文化・社会を考察できる高度な思考力の養成を目標とする。

副専攻の学習成果

・世界情勢を偏りなく見つめ、自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力が身につく。
・日本およびアジア諸国の文化・社会・歴史について、グローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得できる。
・日本とアジア諸国の関係について、専門的知識に裏打ちされた自らの意見を持ち、両者の交流の仲介役となることができるコミュニケーション能力が身につく。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
16475	日本研究特論1E	日本の社会・文化・言語等に関する様々な個別テーマについて英語で学ぶ	2～4		
16476	日本研究特論2E		2～4		
52132	日本思想史1	・高校倫理・日本史の知識をどう大学の研究に生かすか、を考える。 ・日常見過ごしている事柄から研究の発端を見つける。 ・日本思想史の基礎的知識を身につける	2～4		
52632	日本思想史2		2～4		
52133	日本史特論1	日本史の専門的知識を習得し、史料批判をふまえた歴史研究の手法を身につける	2～4		
52633	日本史特論2		2～4		
52201	東アジア史概説A1	中国史の時代区分についての基本的な知識を獲得する。唐から宋への変化とその中国史・東アジア史的な意味について学ぶ。 中国史・東アジア史の基本的な用語についての知識を獲得する。	2～4		
52701	東アジア史概説A2		2～4		
52202	東アジア史概説B1	中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。中国における歴史的事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4		
52702	東アジア史概説B2		2～4		
52241	現代中国論A1	現代中国の政治を中心に、これと関連する社会・経済・歴史・文化についての知識を増やし、中国に対する理解を深める	2～4		
52741	現代中国論A2		2～4		
52242	現代中国論B1	現代中国政治史の知識を習得し、中国に対する理解を深める	2～4		
52742	現代中国論B2		2～4		
52243	現代中国論1E	現代中国についての知識に基づいた自らの見解を構築し、それを英語で表現できるようになる	2～4		
52743	現代中国論2E		2～4		
52249	南アジア地域論	南アジア地域と文化人類学の基本的な考え方について理解することができる	2～4		
52250	比較文化学概説A	南アジアの仏教美術を理解するとともに、人間の文化的所産としての宗教を、幅広い視野から考察することをめざす。あわせて、仏教の基本的な考え方を身につける。	2～4		
52251	比較文化学概説B	奈良、京都、鎌倉などを中心に、伝統的建築に対する理解を深める。	2～4		
52216	現代中国文化論1	現代中国の文化・社会に対する多元的・複合的な理解を深める。先入観を介さない柔軟な思考力を培う。	3～4		
52716	現代中国文化論2		3～4		

副専攻名　アジア・日本研究

副専攻のCP（カリキュラム編成方針）

日本を含むアジア諸地域について、人文科学や社会科学の様々なアプローチを用いて分析する科目でカリキュラムを構成する。他の地域や世界の状況との比較の視座から、俯瞰的に日本やアジアの文化・社会を考察できる高度な思考力の養成を目標とする。

副専攻の学習成果

・世界情勢を偏りなく見つめ、自己のアイデンティティを大切にしながら異文化を受け入れられる価値観や包容力が身につく。
・日本およびアジア諸国の文化・社会・歴史について、グローバルな視点から客観的に観察できる態度と能力を獲得できる。
・日本とアジア諸国の関係について、専門的知識に裏打ちされた自らの意見を持ち、両者の交流の仲介役となることができるコミュニケーション能力が身につく。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	開講期※1	
				前期	後期
52244	中国の文化と社会1E	中国の文化や歴史上の事件に関する各論について理解し、自分の見解をもつ	2～4		
52744	中国の文化と社会2E		2～4		
52220	アジア研究特論A1	アジア諸地域の政治・経済・社会・文化・歴史等に関する様々な個別テーマについて学び、アジアの多様性を理解する	2～4		
52720	アジア研究特論A2		2～4		
52221	アジア研究特論B1		2～4		
52721	アジア研究特論B2		2～4		
52268	アジア研究特論1E	アジア諸地域の政治・経済・社会・文化・歴史等に関する様々な個別テーマについて英語で学び、アジアの多様性を理解する	2～4		
52768	アジア研究特論2E		2～4		
52245	東アジア社会と教育A1	比較教育社会学の基本的な考え方を学びながら、学校・家族・企業など教育活動が行われている場所を具体例に挙げ、東アジア地域における社会構造と教育のあり方や関連を歴史的に比較するための柔軟な視点を身につける。	2～4		
52745	東アジア社会と教育A2		2～4		
52246	東アジア社会と教育B1		2～4		
52746	東アジア社会と教育B2		2～4		
52054	人類学的異文化理解	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を，具体的事例検討を通じて把握する。	3～4		
16210 (10019 ※2)	異文化理解1	世界各地の文化（日本を含む）や国際的事象を相対的な視点から考察する能力と方法論を獲得する。	1		
16410 (10020 ※2)	異文化理解2		1		
52252	イスラーム社会と文化	イスラームの基礎的事項と，世界のイスラームの多様性を理解し，ともに生きるための考え方を学ぶ。	3～4		
16270	日本語学概論A	主として現代日本語を中心に、外国人に対する日本語教育や日本人のための国語教育にとって必要な日本語の基礎知識のうち、文法、文字表記を中心に学び、日本語への理解と関心を深めることができる。	2～4		
16468	日本語学概論B	主として現代日本語を中心に、外国人に対する日本語教育や日本人のための国語教育にとって必要な日本語の基礎知識のうち、音声、語彙を中心に学び、日本語への理解と関心を深めることができる。	2～4		
52269	東アジアの社会学と人類学A1	社会学と人類学の学説史を学びながら、日本・台湾・中国など東アジアの事例を元に理論の応用と理解を深める。とくに私たちの近辺にある事象、自分自身も含めて分析のアンテナを広げ、理論と具体的対象を結び付けられるようになる。	2～4		
52270	東アジアの社会学と人類学A2				
52769	東アジアの社会学と人類学B1				
52770	東アジアの社会学と人類学B2				
36323	日本史要説A	日本史上の諸問題について、史料読解を通じて研究に必要な基礎的知識・手法を習得し、アジアの中で日本を捉える視座を身につける。	2～4		
10092	アジア研究基礎	アジア諸地域において現代ないし過去に生じた様々な事象の検討を通じて、同地域の研究に従事する上で必要となる基礎的な知識を身につける。	2～4		

※1　開講期は、Webシラバスでご確認ください。

※2　学域GS科目として履修する場合の科目番号